

四日市版コミュニティスクール報告書（令和元年度総括）

四日市市立大池中学校

校長 成田 達也

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

保護者および地域住民が一定の責任を持って学校経営に参画し、学校教育活動の充実に向け、学校や保護者及び地域住民が協働し学校づくりビジョンに掲げる「つながる教育、つながりあう学校」の実現を目指します。

また、四日市版コミュニティスクールとしての取り組みを進めることで、県地区・三重地区にまたがる本校の校区に、地域・家庭・学校が一体となって子どもたちの健全育成を図るための子ども支援ネットワークの構築に努めていきます。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

①大池中学校コミュニティスクール運営協議会

運営協議会は、本年度5回の会議を実施しました。各回とも各運営委員には、普段の授業や学校行事（体育祭・文化祭）を参観していただくことで、生徒や保護者の実態を把握していただきました。

また、全国学力・学習調査やNRTの結果に基づく本校の状況分析、生徒・保護者および教職員による「学校自己評価の結果分析」などを提供しています。これらを踏まえ、学校の教育活動や運営方針等の状況について客観的な評価をいただくとともに、会議では学校に対する様々な角度からの助言をいただきました。

②地域とつながる学習

地域とつながる学習として、中学生が地域の団体や施設に直接出かけることで、地域の方々との交流を深めることができました。

ア. 地域子ども教室の開催

本校の課題の一つでもある学習環境が整わない子どもたちに長期休業中（夏季休業6日間・冬季休業3日間）に学習支援の場を提供し、学習習慣の定着を図り学習意欲の向上を目的とする「地域子ども教室」を開催しました。CS委員をはじめ地域の一般学習ボランティア、学生ボランティアの方々にも協力をしていただきました。



イ. 有志生徒による合唱

校区内にある「四日市消化器病センター」で合唱を披露しました。

有志生徒による合唱は、施設の方々や地域の方々にも多くの感動を与え、温かい大きな拍手をいただきました。



ウ. 御池沼沢除草作業と学習



校区内にある「御池沼沢植物群落」（国の指定天然記念物）について、1年生を中心に社会教育課から講師の方を招き、くわしく学習しました。

その後、除草作業も行い、環境保全の大切さや地域にある自然についても認識も新たにすることができました。

③ 授業・学校行事等の公開

ア. 体育祭や文化祭などの行事・参観授業

体育祭や文化祭等の学校行事も参観していただきました。委員の方には、普段の授業だけでなく学校行事も参観していただくことで、生徒の日々の成長を見ていただく良い機会となりました。



④地域と協働した活動

ア. 竹谷川の清掃作業

文化部生徒を中心に「蛍が生息する竹谷川」の清掃作業をおこないました。地域の団体「蛍とさくらを守る会」などの地域団体とも協働して清掃作業を行いました。



イ. 職業体験学習



本校校区内にある「なし園」や「牧場」「福祉施設」を含め、50以上の事業所にお世話になりました。

事前訪問をふくめ地域にある事業所で体験させていただくことで、生徒のにとってはより地域に対しての愛着が感じられる活動となりました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

○平成30年度より、本校ではコミュニティスクール（運営協議会）が発足し、地域で活躍されている委員のみなさんに中学校の様子を知っていただく機会が増えました。コミュニティスクールでは生徒の活動の参観や学校からの状況について説明を行い、ご意見をいただきました。

コミュニティスクールの報告をホームページに掲載し、保護者をはじめ多くの方々に知っていただくことができました。

○生徒、保護者、教職員による「学校自己評価」においても「大池中の子どもたちは、自分の力を発揮して、学習や様々な活動に意欲的に参加している」「大池中では、授業、行事、部活動等の中で子どもたちの個性を生かした指導を行っている」などの項目で、保護者から好評価を得ることでしました。

また、運営協議会委員からは、施設面での充実などの指摘もいただきました。

3 今後に向けて

(1) 生徒の現状から見えてくる課題

授業や行事の参観を通して、運営協議会の委員さんからは、「大池中の生徒さんは、落ち着いた環境で学習にも熱心に取り組んでいる」「あいさつをしっかりとできてたいへん気持ちがいい」「地域行事にも積極的に参加してくれて地域とのつながりを感じる」といったお褒めの言葉を多くいただきました。

課題としては、「スマホの使用時間の多さとそれに伴うトラブルの件数や家庭学習時間の少なさについては、小学校や家庭との連携の必要性」「不登校生徒数の多さとその対策について」といったことがあげられました。教職員内でも子どもたちの困難さに立ち向かう力が年々弱まっていることを課題として共有し、来年度以降も、課題を克服できるよう努力し続けていく必要があると考えています。

(2) 教員の参画と運営協議会の組織について

本校では、昨年度より運営協議会が組織されました。学校側からは、校長・教頭に主幹教諭を加えたこともあり、運営協議会の取組について一部教員の中にも定着しつつあります。今後の課題としては、教員ひとり一人の参画意識を高めることで、より主体的に地域関係者と連携し、計画・実施できるようにと考えています。

本校では、この運営協議会を生徒の豊かな成長を促進するための重要な方策として、先進校の取組を参考にしながら、大池中学校区に根差した独自のスタイルを確立させていくために、今後も運営協議会委員のみなさまのご協力をいただきながらさらに前進させていただきます。

令和元年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立大池中学校

委員長 大谷 建二

校長 成田 達也

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回運営協議会（8日）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観 ・委員の委嘱の委嘱 ・会則、コミュニティスクールについて ・今年度「学校づくりビジョン」について ・今年度の活動について
6		
7	第2回運営協議会（3日）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観 ・学校の様子の報告及び意見交換 など
8		
9	第3回運営協議会（12日）	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭参観 ・参観後の感想および意見交換
10		
11	第4回運営協議会（1日）	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭参観（午前・・・合唱コンクール） （午後・・・展示、ステージ発表） ・参観後の感想および意見交換
12		
1		
2	第5回運営協議会（14日）	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度「学校自己評価」の提示と意見交換 ・来年度の学校経営・運営について ・学校の様子の報告及び意見交換・情報交換
3		